

2020年12月期 第2四半期決算説明資料



2020年9月3日
株式会社やまびこ

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 2020年12月期第2四半期 決算概要 | 2 |
| 2. 2020年12月期 業績見通し | 11 |
| 3. 中期経営計画2022 方針および重点施策など | 15 |
| 添付資料 会社概要など | 28 |

1. 2020年12月期第2四半期 決算概要

主力の北米や国内は順調な天候を背景に、OPEや農機が好調となり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた欧州や北米以外の海外が落ち込んだものの、売上高・利益はいずれも第2四半期としては過去最高を更新。

《セグメント概況》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

| 市場 | セグメント | 市場概況 | 当社状況 (現地販売) |
|----|--------------------|---|----------------|
| 国内 | 小型屋外 作業機械 (OPE) | ● 順調な天候を背景に、刈払機の出荷実績は前年を上回った。 | |
| | 農業用 管理機械 | ● トラクタやコンバイン、田植機が消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けて落ち込んだことにより、1-6月の農業機械出荷額は前年比19.7%減（日本農業機械工業会）。 | |
| | 一般産業用 機械 | ● 国内需要は2か月連続で減少し、1-6月の建設機械出荷額は前年比2.2%減（日本建設機械工業会）。 | |
| 海外 | 小型屋外 作業機械 (OPE) | ● 北米市場：ランドスケーパーがエッセンシャルビジネス（日常生活で必要とされるビジネス）に指定されるなど、需要は堅調。 | |
| | | ● 中南米市場：政情不安・経済問題の継続に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により低迷。 | |
| | | ● 欧州市場：新型コロナウイルスの感染拡大により落ち込むも、販売活動の規制が徐々に緩和されはじめる。 | |
| | 農業用 管理機械 | ● 北米市場：穀物価格は低迷が続く。 | |

- ・ 国内外の各事業で、展示会の中止や延期、移動規制の実施等で販売活動が制限。
- ・ 北米子会社では外出禁止令による操業の一時見合わせ（3/20～4/7）も製品供給は継続。

| セグメント | 影響 |
|--------------|--|
| 小型屋外 作業機械 | <p>影響は限定的</p> <p>国内：緊急事態宣言により販売活動が制限されたものの、特別定額給付金（12.8兆円）の支給などが追い風。</p> <p>北米：代理店の休業による減少も5月以降回復し、コロナ救済法案(2.2兆ドル)を背景に特に大手ホームセンター向けが大幅に伸長。</p> <p>欧州：ロックダウンなどによる販売活動の規制により一時的に大きく落ち込むも、現地販売は回復傾向。</p> |
| 農業用管理 機械 | <p>影響は限定的</p> <p>国内・北米</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示即売会等のイベントは中止が継続も、需要への影響は限定的。 |
| 一般産業用 機械 | <p>一部影響が顕在化</p> <p>国内・海外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展示即売会等のイベントは中止が継続しており、加えて建設工事や石油・天然ガスなど資源、エンターテインメント関連のプロジェクトに遅れや中断が発生して長期化を懸念。 |



通常の売場
(イメージ)



店頭販売は好調
(2020年6月)

2020年12月期第2四半期 経営成績



| (百万円) | 19/12期 2Q実績 | | 20/12期 2Q実績 | | 前年同期比 (%) |
|----------------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|
| | | 構成比 (%) | | 構成比 (%) | |
| 売上高 | 65,095 | 100.0 | 67,989 | 100.0 | + 4.4 |
| 売上原価 | 46,436 | 71.3 | 48,618 | 71.5 | + 4.7 |
| 販管費 | 13,448 | 20.7 | 13,329 | 19.6 | ▲ 0.9 |
| 営業利益 | 5,209 | 8.0 | 6,041 | 8.9 | + 16.0 |
| 経常利益 | 4,850 | 7.5 | 5,992 | 8.8 | + 23.5 |
| 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 3,774 | 5.8 | 4,128 | 6.1 | 9.4 |

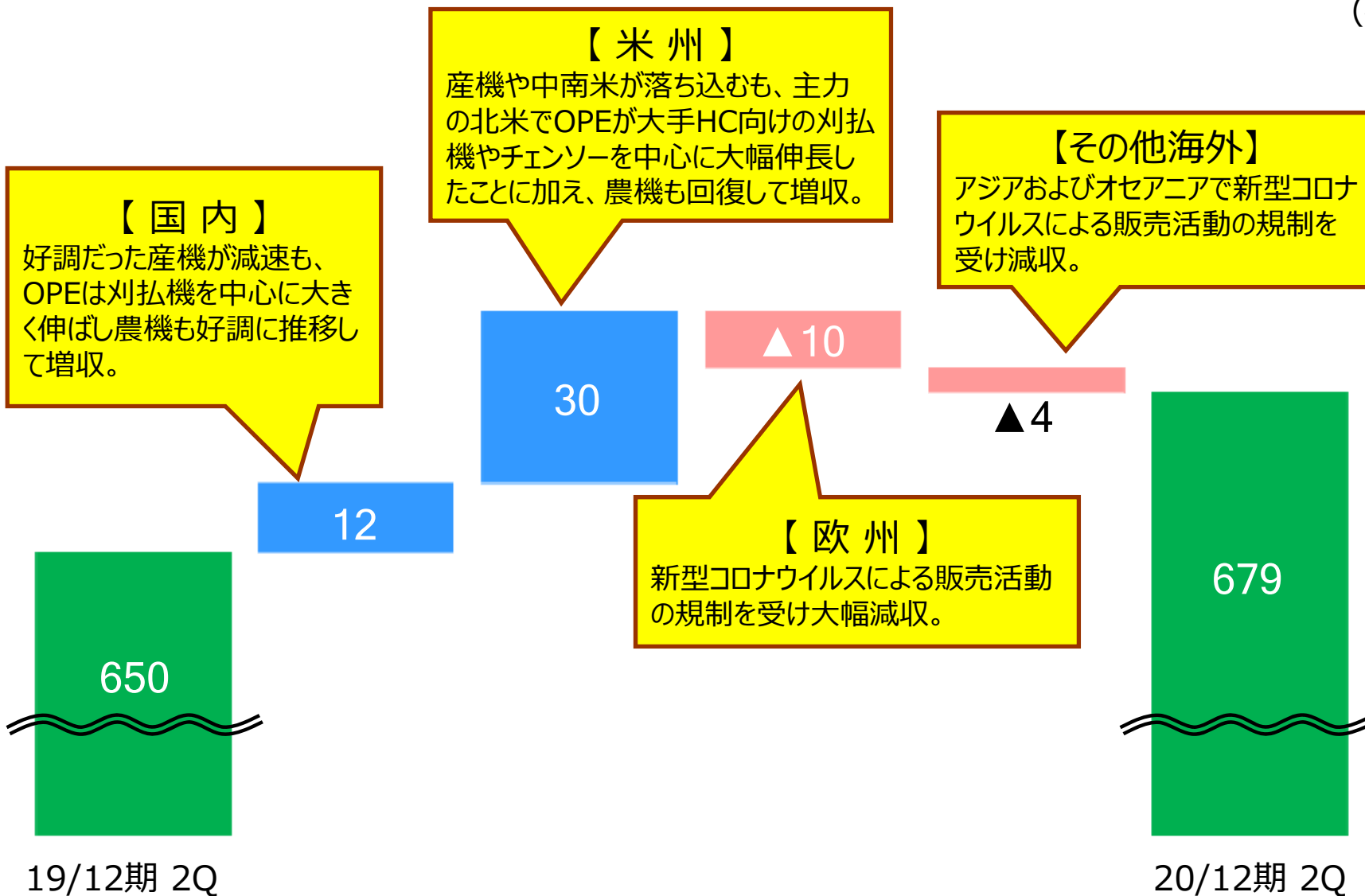
為替レート

| | | | | |
|------|----------------|-------|-------|-------|
| 1ドル | 当社レート | 110 円 | 109 円 | ▲ 1.8 |
| | 米国子会社 換算レート | 110 円 | 108 円 | ▲ 1.7 |
| 1ユーロ | | 125 円 | 120 円 | ▲ 4.2 |

- ✓ 売上高は、国内は好調だった産機が減速も、OPEが伸長し農機も好調に推移。海外は北米以外が落ち込んだものの、主力の北米OPEが大幅に伸長したことに加え、農機も回復して増収。
- ✓ 営業利益は円高や原価率上昇による利益圧迫があったものの、販売数量の増加や販管費削減などにより増益。経常利益は為替差損の減少などにより増益となり、最終利益も増益。

連結売上高の増減

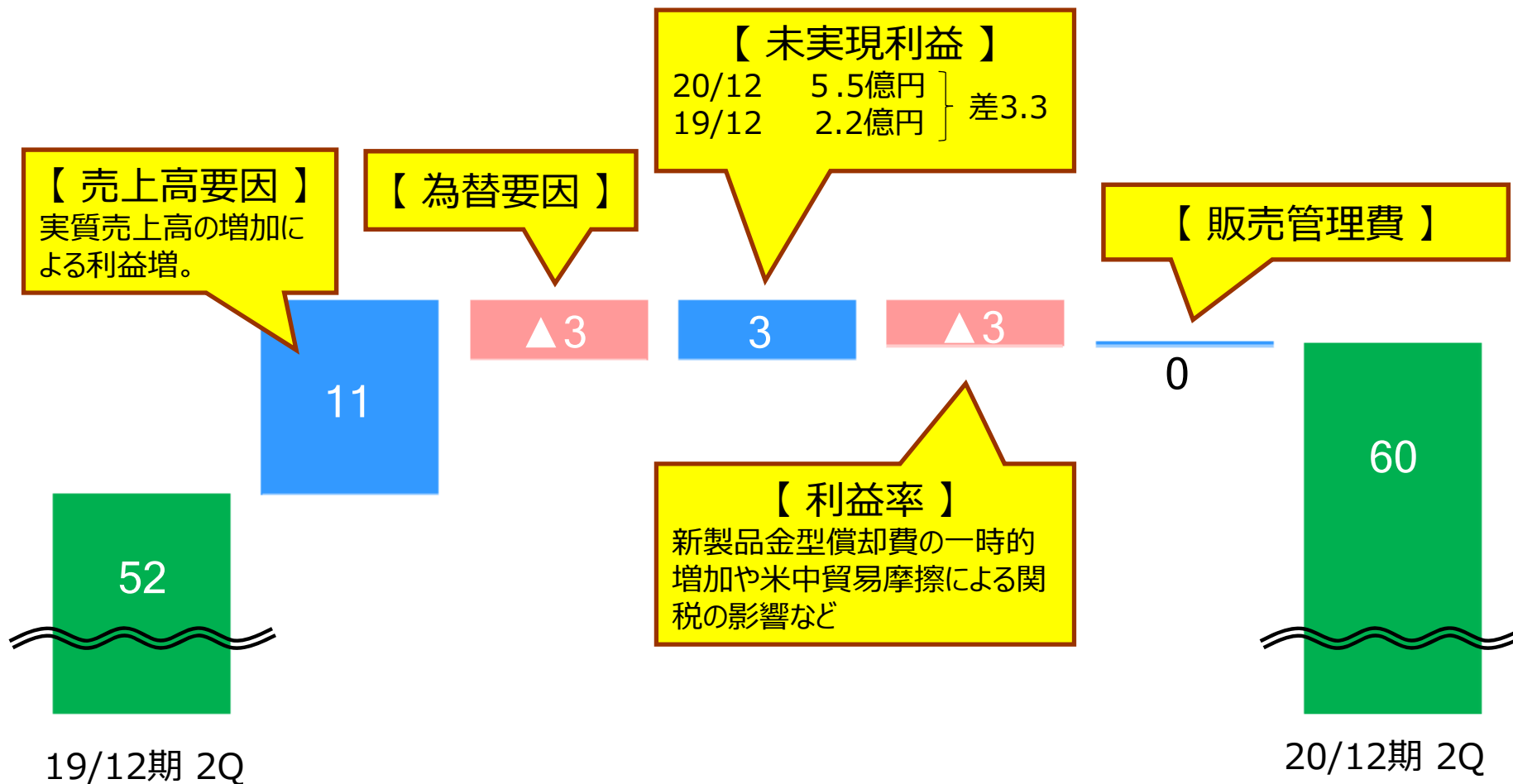
(億円)



連結営業利益の増減



(億円)

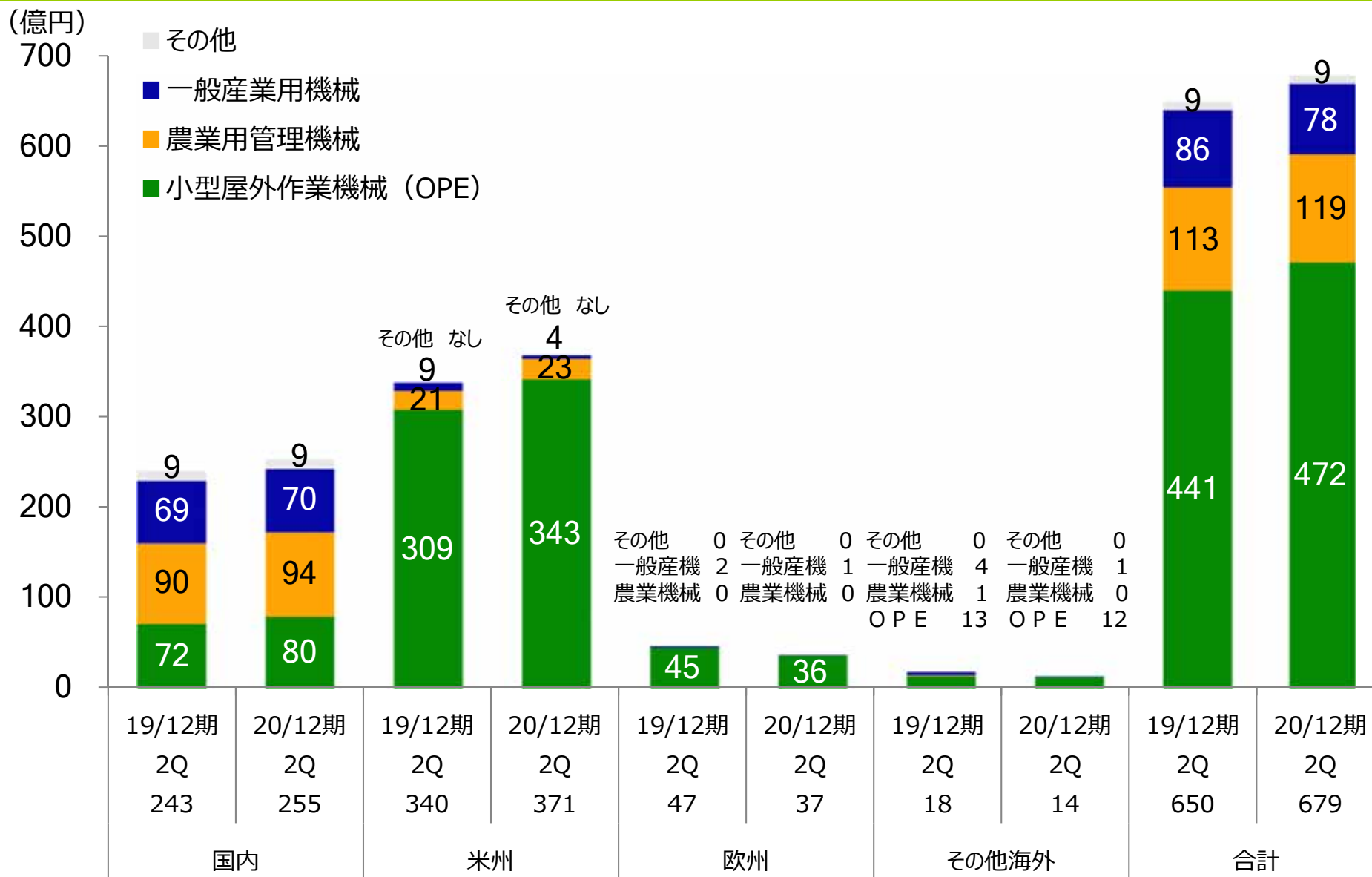


セグメント別経営成績

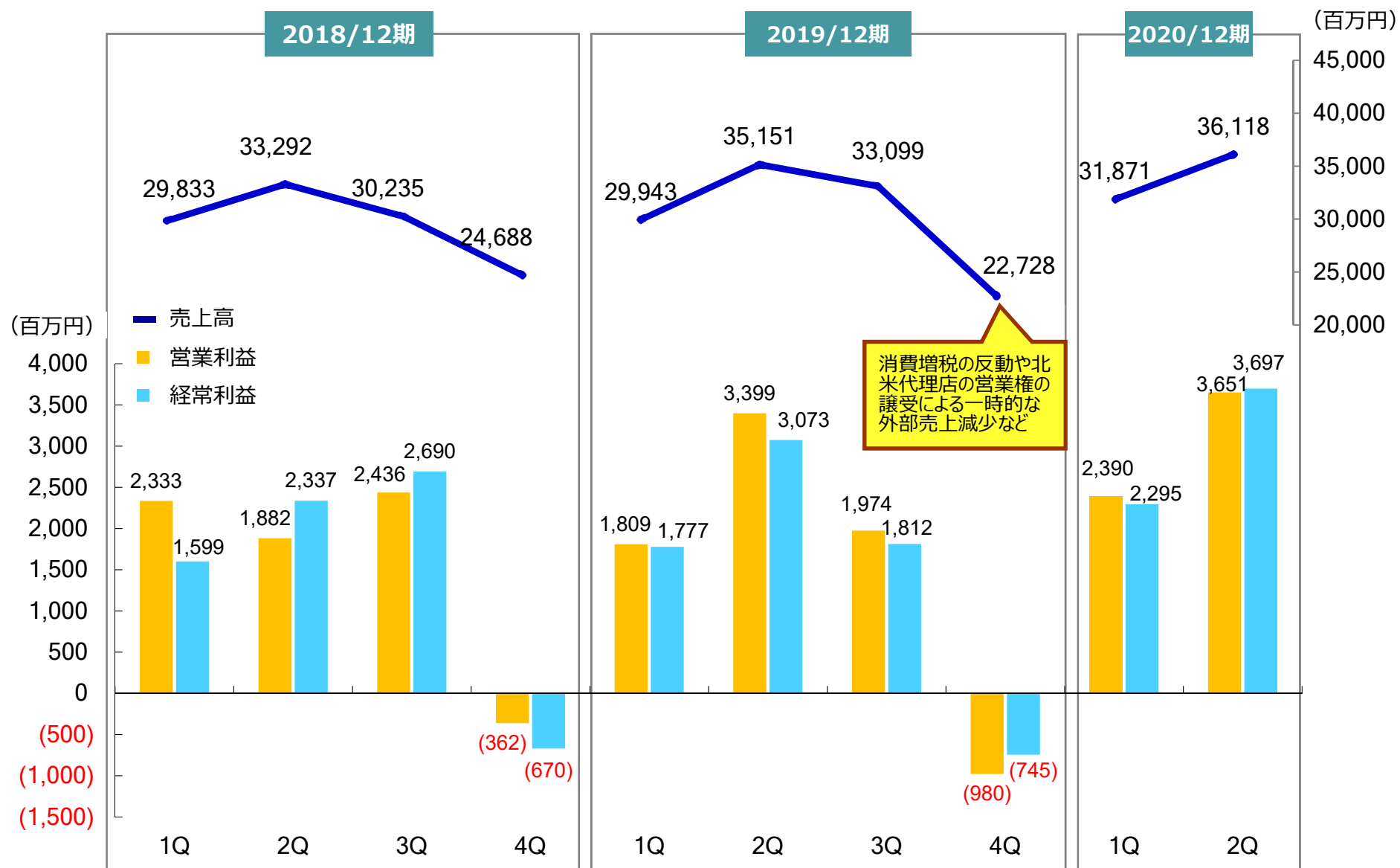


| (百万円) | 19/12期 2Q実績 | | 20/12期 2Q実績 | | |
|--------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|
| | | 構成比 (%) | | 構成比 (%) | 前年同期比 (%) |
| 売上高 | 65,095 | 100.0 | 67,989 | 100.0 | + 4.4 |
| 小型屋外作業機械 | 44,159 | 67.8 | 47,261 | 69.5 | + 7.0 |
| 農業用管理機械 | 11,351 | 17.4 | 11,949 | 17.6 | + 5.3 |
| 一般産業用機械 | 8,603 | 13.2 | 7,827 | 11.5 | ▲ 9.0 |
| その他 | 980 | 1.5 | 950 | 1.4 | ▲ 3.0 |
| 営業利益 | 5,209 | - | 6,041 | - | + 16.0 |
| 小型屋外作業機械 | 7,350 | 141.1 | 8,165 | 135.2 | + 11.1 |
| 農業用管理機械 | ▲ 23 | ▲ 0.5 | 184 | 3.0 | - |
| 一般産業用機械 | 702 | 13.5 | 544 | 9.0 | ▲ 22.4 |
| その他 | 199 | 3.8 | 171 | 2.8 | ▲ 14.2 |
| 全社共通費 | ▲ 3,018 | - | ▲ 3,023 | - | - |

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



2. 2020年12月期 業績見通し

2020年12月期（通期） 予想



| (百万円) | 19/12期 実績 | | 20/12期 修正予想 8月12日発表 | | | 20/12期 前回予想 5月13日発表 |
|---------------------|--------------|------------|---------------------------|------------|--------------|---------------------------|
| | | 構成比 (%) | | 構成比 (%) | 前年同期比 (%) | |
| 売上高 | 120,922 | 100.0 | 124,000 | 100.0 | + 2.5 | - |
| 売上原価 | 86,928 | 71.9 | 89,200 | 71.9 | + 2.6 | - |
| 販管費 | 27,791 | 23.0 | 28,500 | 23.0 | + 2.6 | - |
| 営業利益 | 6,203 | 5.1 | 6,300 | 5.1 | + 1.6 | - |
| 経常利益 | 5,917 | 4.9 | 6,100 | 4.9 | + 3.1 | - |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 4,164 | 3.4 | 4,400 | 3.5 | + 5.7 | - |

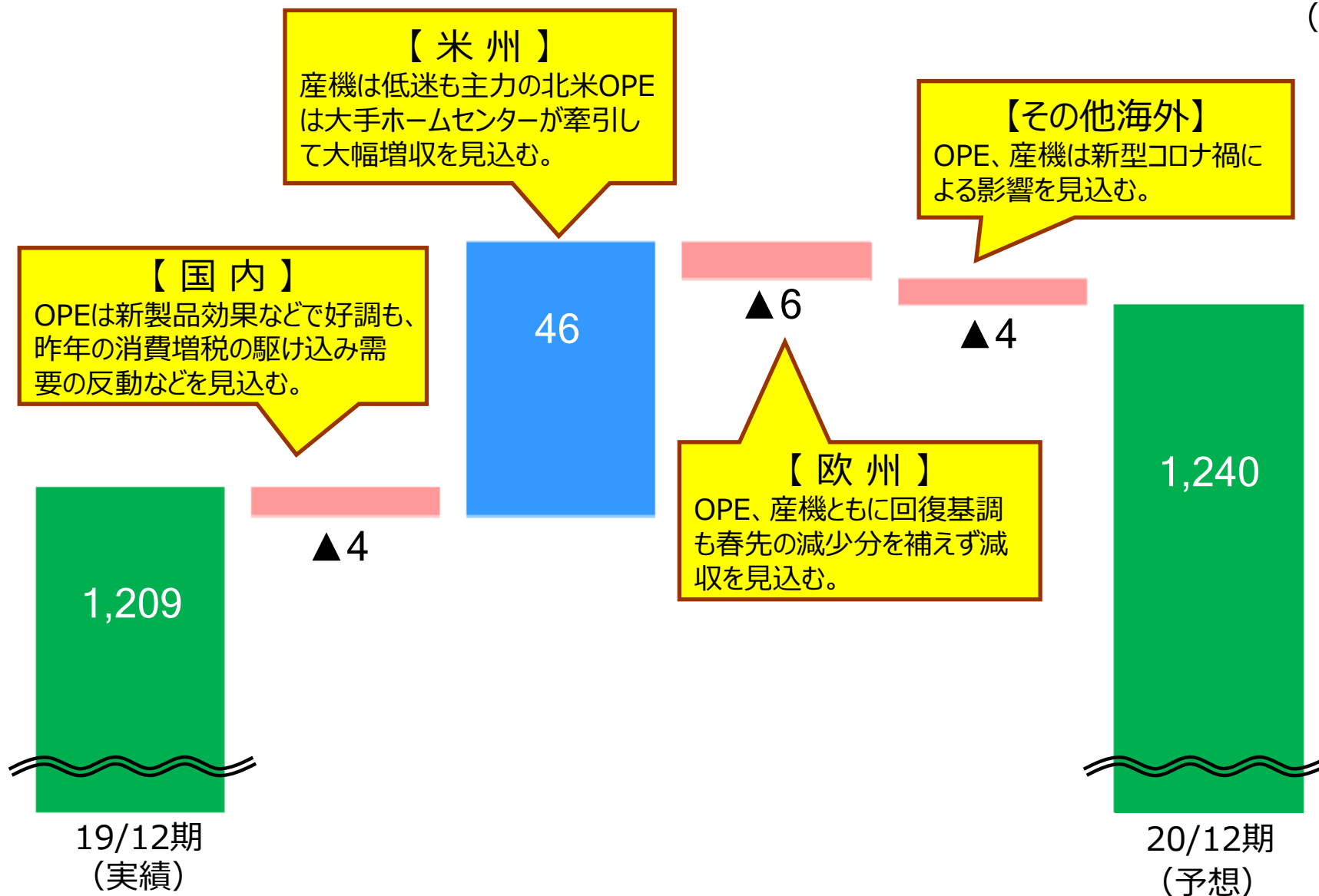
為替レート ※今後の為替レートは1ドル107円、ユーロ118円。

| | | | | | |
|------|----------------|-------|-------|-------|---|
| 1ドル | 当社レート | 109 円 | 107 円 | ▲ 2.2 | - |
| | 米国子会社 換算レート | 109 円 | 107 円 | ▲ 1.9 | - |
| 1ユーロ | | 123 円 | 118 円 | ▲ 3.8 | - |

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響は依然として不透明ではありますが、第2四半期連結業績への影響は限定的でありました。通期の連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、売上高、利益ともに期初に発表した予想値を据え置きました。

連結売上高の増減（予想）

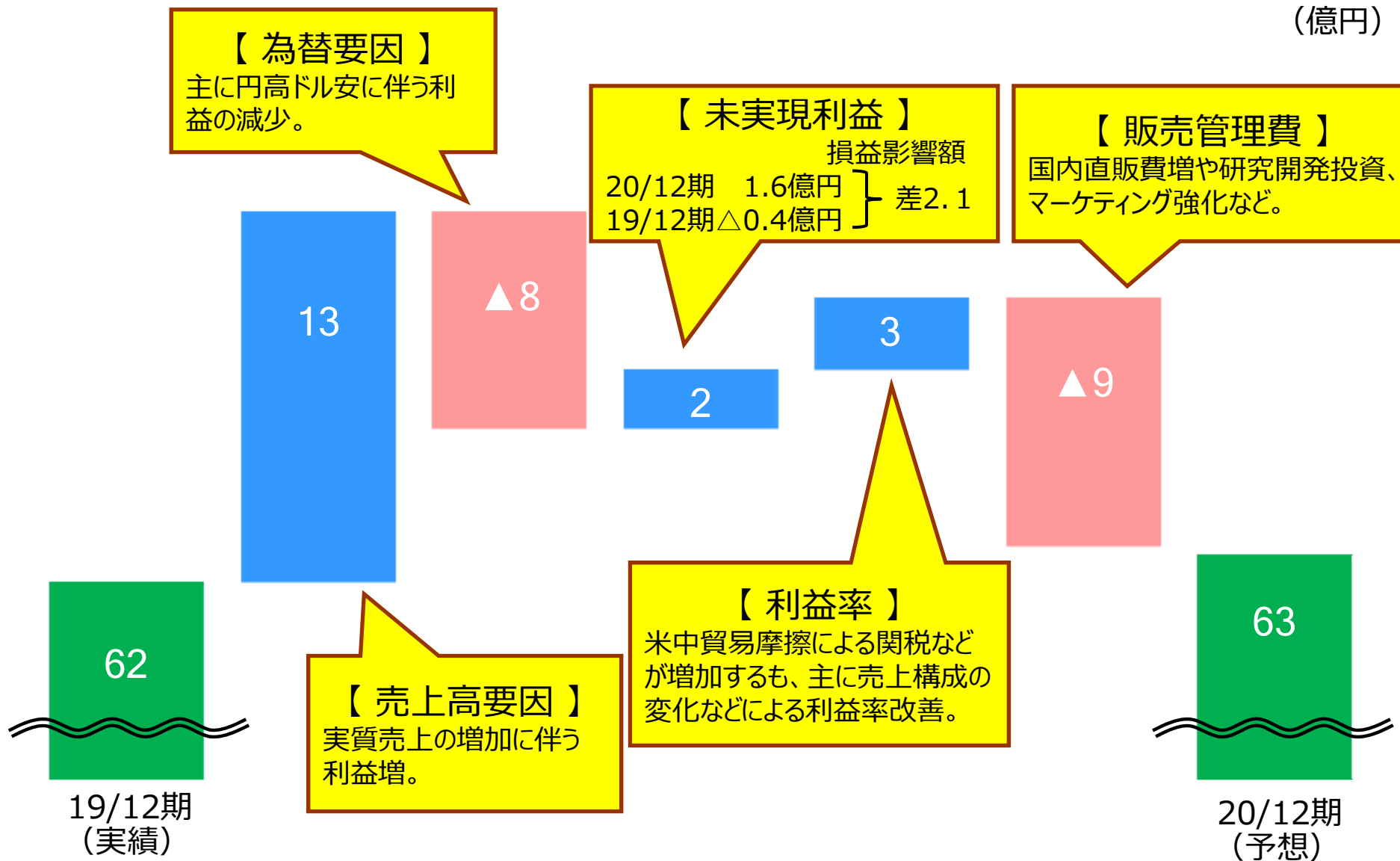
(億円)



連結営業利益の増減（予想）



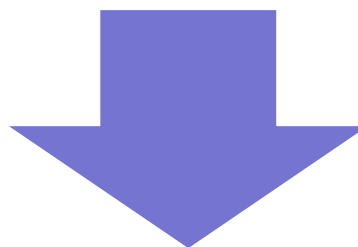
(億円)



3. 中期経営計画2022 方針および重点施策など

前回（5月13日）公表

「中期経営計画 2022」については、新型コロナウイルス感染症の終息が見込まれた段階で事業環境などを改めて精査し、中期業績目標等の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表。



中期経営計画の取扱い

新型コロナウイルス感染症の拡大が継続しており、先行き不透明な状況に変化はない。
現時点では、期初に掲げた目標を達成すべく着実に実行する。
今後も状況を注視しつつ、大きな変化があった際には再度検討を行う。

北米

22/12期 売上高目標
617億円
(+16.7%)

欧州

22/12期 売上高目標
98億円
(+19.2%)

プロ向け製品の拡販とデジタルマーケティングの推進
～各種施策を通じ、売上の最大化に取り組む～



プロ向け

プロ向け戦略を深化させ、持続的成長を図る。

- 主要エンドユーザーであるランドスケーパーが
コロナ禍においてエッセンシャルビジネス※に指定
 - 緑地管理は欠かすことのできない文化として根付く
→他社からの乗換（お試し）プログラムを推進



※エッセンシャルビジネス
日常生活で必要とされる
ビジネス
その他：銀行、病院、
スーパーマーケットなど

■ デジタルマーケティングの強化

- ソーシャルメディアを活用し、プロによる最新製品の評価を拡散
- ジェネレーション毎にマーケティングを最適化
- ユーザーの関心が高い野球(MiLB)、サッカー(MLS)広告でブランド力を向上



■ Xシリーズのラインナップ拡充

- 「CS-7310P」を今秋市場投入

(排気量)



ホームデポ

- 販売は4月に対前年比3割減少も5月には月間レコードを更新し、6月も好調を維持
→新型コロナウイルスによるステイホーム期間にホームオーナーから需要が増加

■ ホームデポ向け成長戦略

- 全米のホームデポ店舗でECHOブランドの販売面積を拡張し、販売増を狙う
→当初3割の予定を超えて4割の店舗で4月までに改装完了
- Home Depot.com（EC）での成長
→刈払機やチェーンソーが伸長、新ダイワ製品の新規取り扱い



従来複数ブランドが並んでいた棚がブランド別になり販売面積が拡大

ロボット

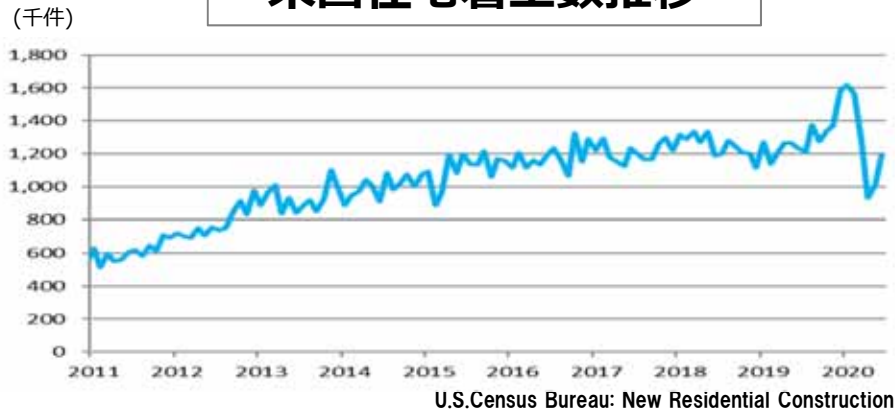
■ ロボット製品の拡販と市場開拓

- コロナ禍において移動制限により、営業活動が停滞
→Webセミナーを開催するなどして新たな顧客を開拓

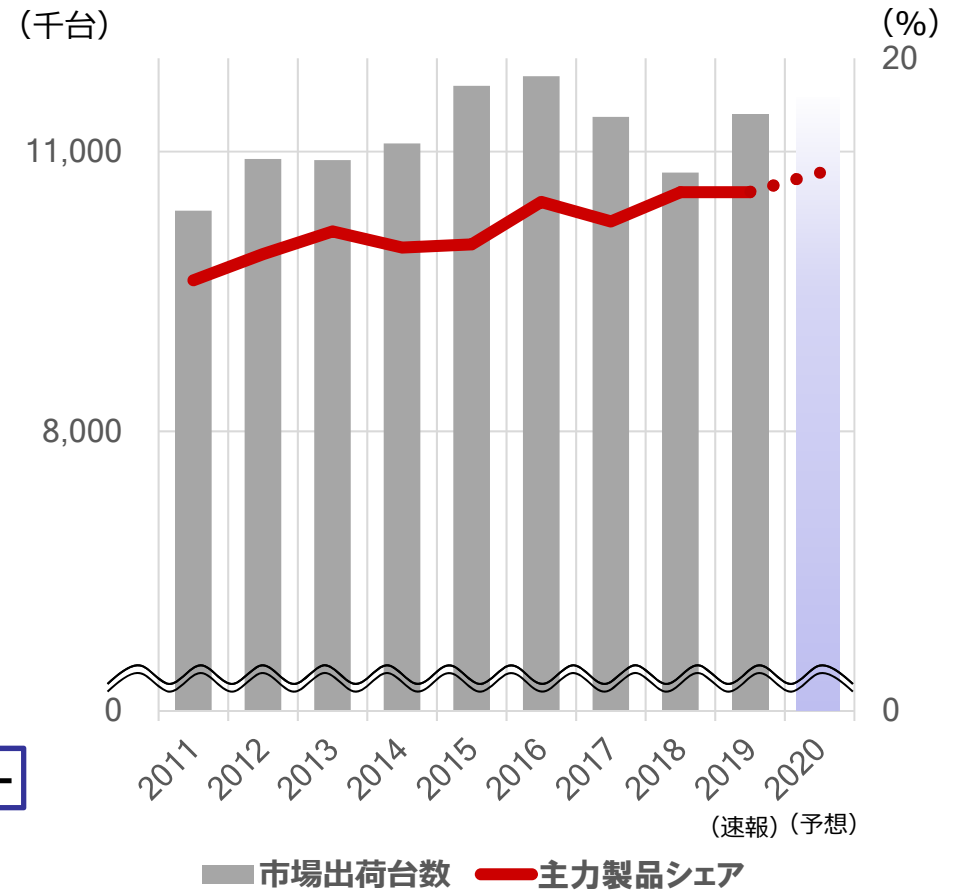


エンジン製品市場における存在感を示し、シェア向上を目指す。

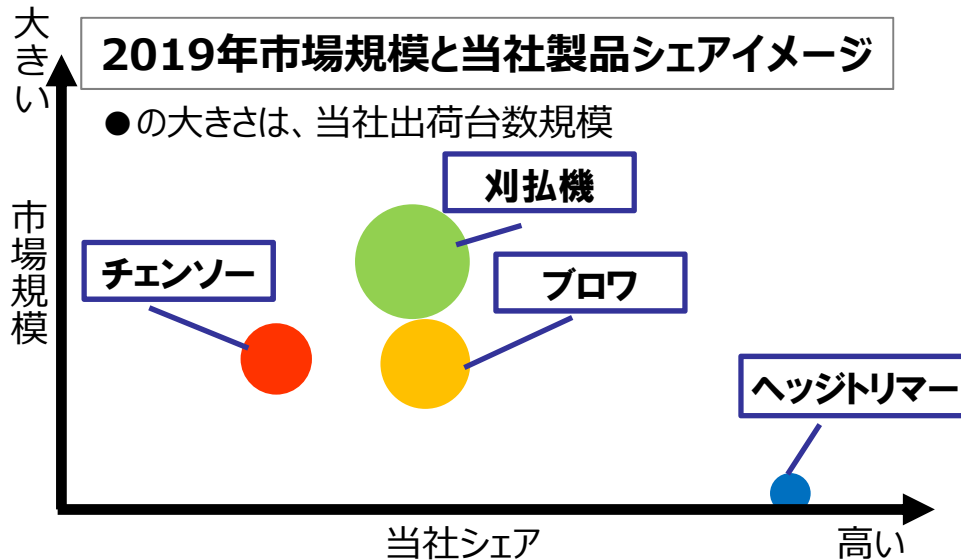
米国住宅着工数推移



市場出荷台数と当社製品シェア実績推移



2019年市場規模と当社製品シェアイメージ



出所：当社推計

市場に合わせた拡販とブランド認知度の向上を推進する。

TOPIX

- ・欧州各国のロックダウンによる営業活動停止の影響を受けるも、5月以降に需要が回復。
- ・エンジン製品の新たな販路を開拓し、販売拡大に努める。

■ プロ向け「Xシリーズ」の拡充

■ バッテリー製品のラインナップ拡充

■ デジタルマーケティングによる認知度向上

- 欧州地域における統一したブランドサイトの構築
- SNSによる継続した情報発信
- 代理店のデジタルマーケティング支援

■ ロボット芝刈機の拡販と市場開拓

- 空港など新規需要



Global Web Platform



小型屋外作業
機械

22/12期 売上高目標
145億円
(+6.5%)

高い市場シェアと強固な販売網の 活用による拡販に取り組む

■ 軽量、高出力な新製品を市場投入



■ ロボット芝刈機の国内販売を開始

➤ 認知度向上を最優先に、PR活動を展開



農業用管理
機械

22/12期 売上高目標
162億円
(+4.0%)

収益化の実現と、スマート農業 への対応を推進

- サービス基盤の強化
 - 大型機械の保守サービス事業を拡大
- スマート農業に対応した大型防除機を販売開始
 - 散布量自動制御に加え、世界初となるスライドブーム自動伸縮制御機能を搭載



BSQ6002-ME



マッピングに合わせて自動伸縮制御

一般産業用
機械

22/12期 売上高目標
137億円
(△9.9%)

シェア向上と収益性改善の両立

- マルチ発電機を活用した防災・減災、国土強靱化のためのインフラ整備
 - 今年度に追加された住民拠点サービスステーションへの発電機の拡販を見込む

住民拠点SS

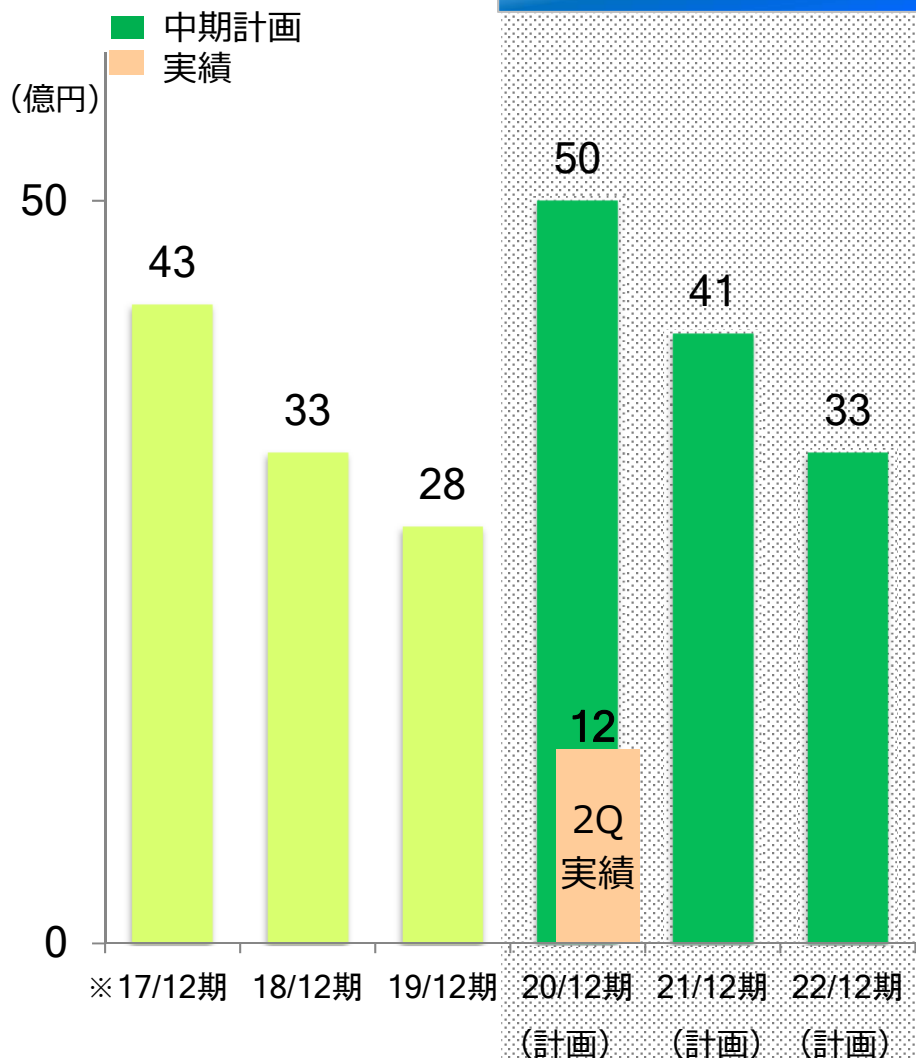


DGM80BMK

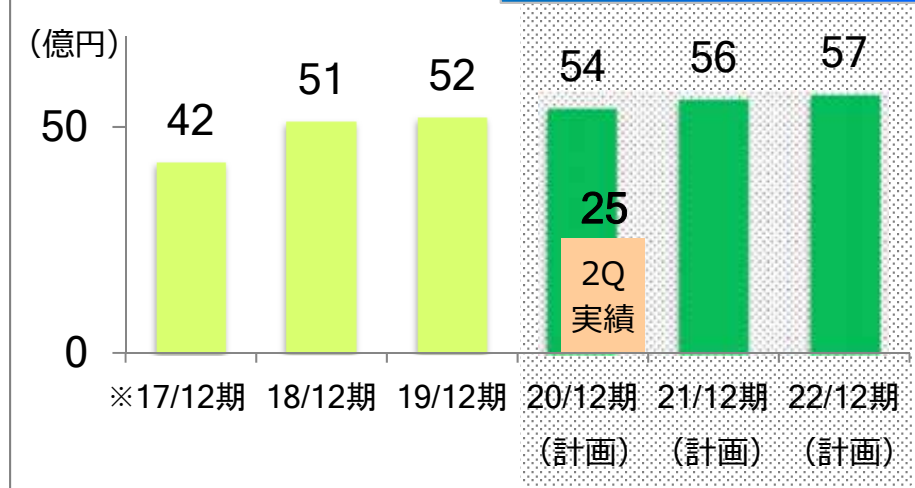


世界初の三相/単相3線切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)

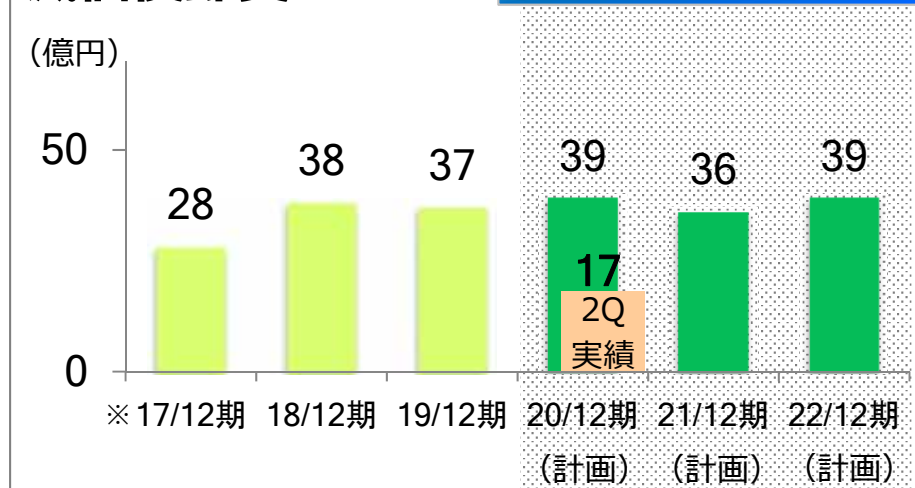
設備投資



研究開発費



減価償却費



◇ 配当予想の修正理由

2020年12月期第1四半期に合理的な算定ができないことを理由に未定としていた2020年12月期の業績予想の修正を行ったことにより、配当予想を再公表。

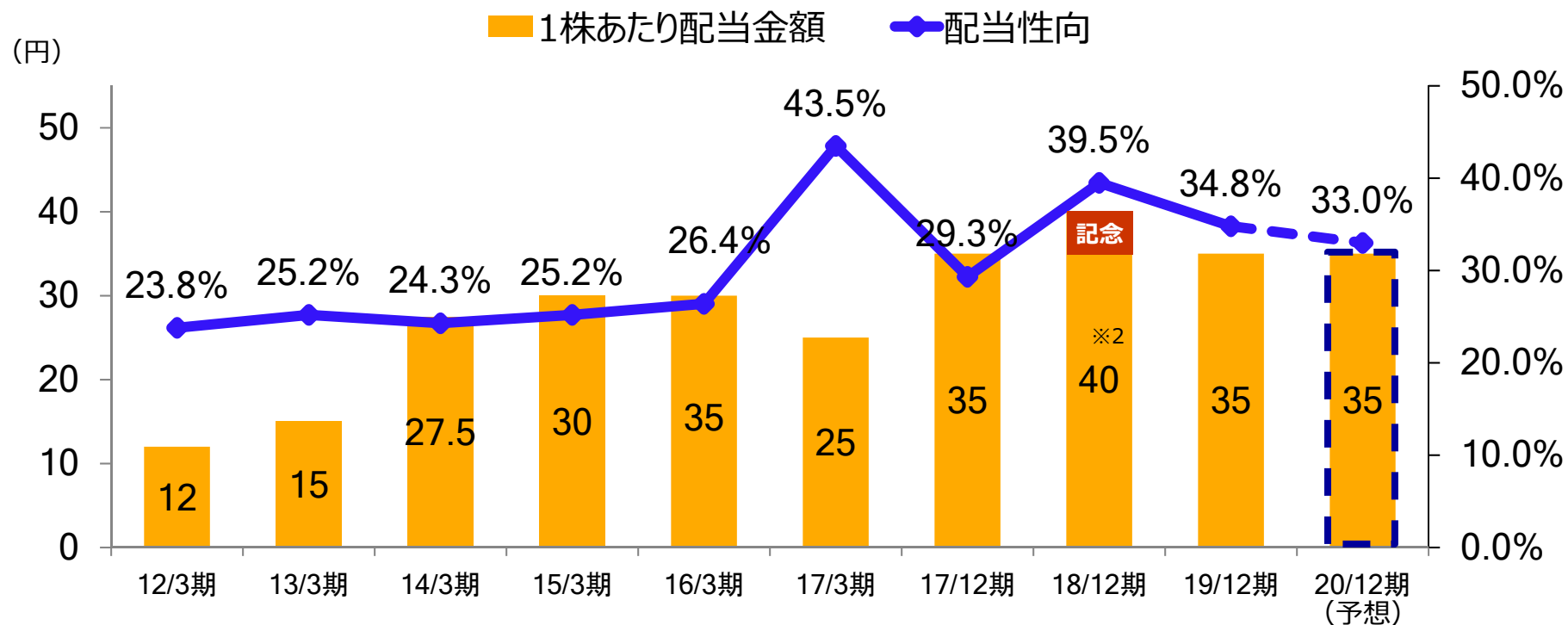
◇ 2020年度12月期 配当額

2020年12月期 年間配当（予想） **35円**

| 期初（2月12日） 予想 | 前回（5月13日） 予想 | 修正予想 |
|-----------------|-----------------|------------|
| 35円 | 未定 | 35円 |

株主還元

- 安定配当の継続
- 連結配当性向25%以上

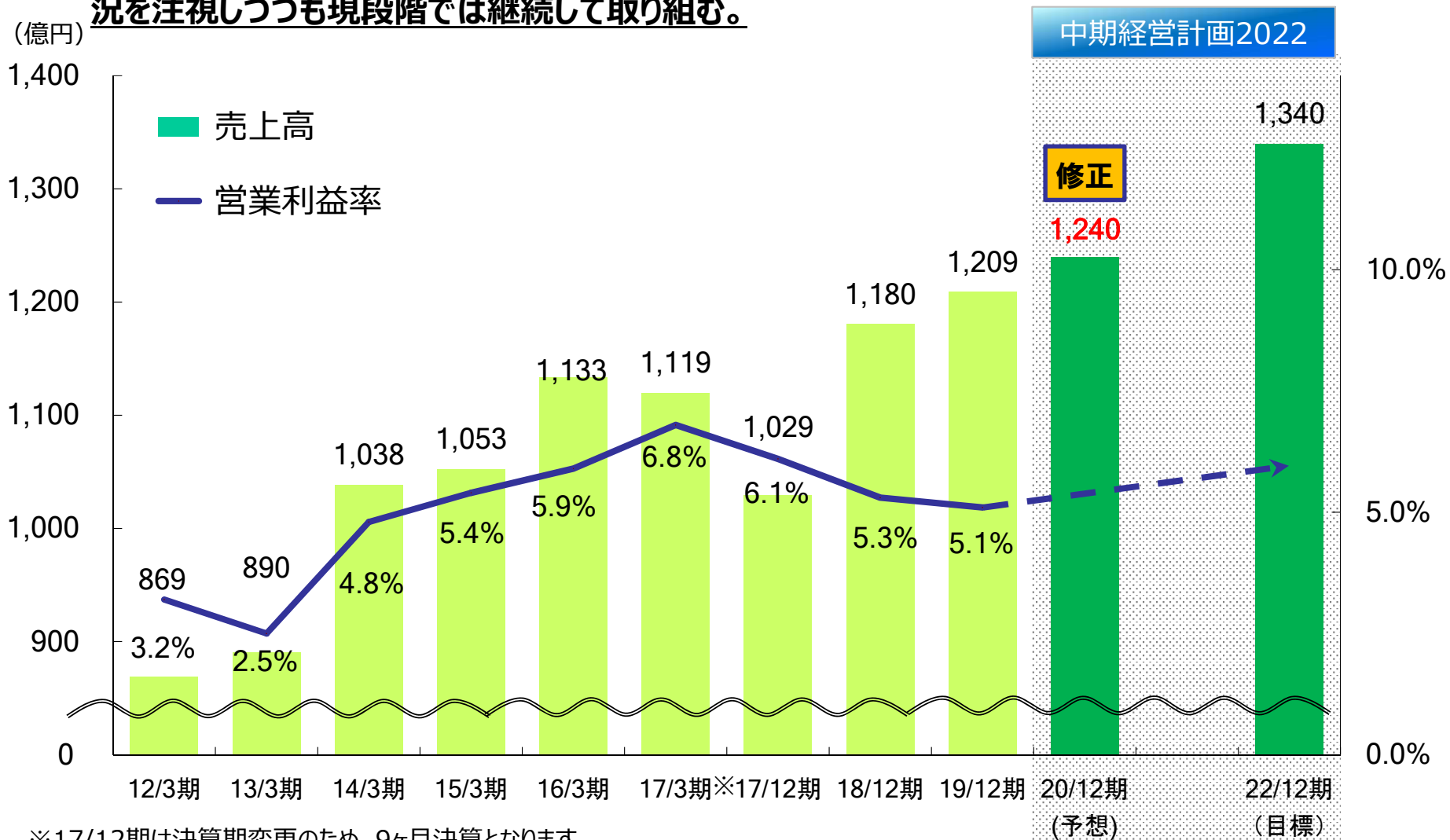


※1. 2015年10月1日付で株式分割を行っております。各期を比較しやすいように、株式分割考慮後の金額を記載しております。
 ※2. 設立10周年記念配当5円を含みます。

業績推移と中期経営計画2022



5月13日に2020年12月期予想を一旦取り下げ、未定となっていた中期経営計画2022について、改めて8月12日公表の通り修正。**中期経営計画2022は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつも現段階では継続して取り組む。**



※17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

添付資料

株式会社やまびこ 会社概要

『やまびこ』の概要



| | |
|---------------|---------------------------------|
| 会 社 名 | 株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION) |
| 設 立 | 2008年12月1日 |
| 本 社 | 東京都青梅市末広町一丁目7番地2 |
| 売 上 高 | 120,922百万円 (2019年12月期連結) |
| 資 本 金 | 6,000百万円 |
| 決 算 期 | 12月31日 |
| 連 結 子 会 社 数 | 15社※ (国内6社・海外9社／2019年12月末現在) |
| 従 業 員 数 | 3,372名 (2019年12月末現在／連結) |
| 上 場 市 場 | 東京証券取引所第一部 |
| 証 券 コ ー ド | 6250 |
| 発 行 済 株 式 総 数 | 44,108,428株 (2019年12月末現在) |
| 単 元 株 式 数 | 100株 |

※持分法適用関連会社2社を除いております。

| | | |
|--------|---|---|
| |  株式会社 共立 | 新ダイワ工業株式会社 |
| 設立(創業) | 1947年(昭和22年) | 1952年(昭和27年) |
| 取扱ブランド |   国内の農林業機械 全世界の小型屋外作業機械 |  全世界の小型屋外作業機械・一般産業用機械 |

《 資本提携以前の小型屋外作業機械 (OPE※) 市場の状況 》

- ★ 欧米 (特にアメリカ) の排出ガス規制への技術的対応
- ★ グローバルレベルでの業界再編・競争激化
- ★ 新興国企業の廉価攻勢
- ★ 顧客ニーズの多様化

《 資本提携・共同持株会社設立・合併までの経緯 》

2007年 5 月 業務・資本提携基本契約締結

2008年12月 共同持株会社『やまびこ』設立

2009年10月 『やまびこ』が 共立 および 新ダイワ工業 を吸収合併し事業会社化

＜社名の由来＞ 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

※Outdoor Power Equipment

『やまびこ』って？

YAMABIKO

みなさまの身近な現場で
活躍しています



小型屋外作業機械 (OPE)



その他

農業用管理機械

一般産業用機械

(注)2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

長年にわたる蓄積

技術力・生産能力・ネットワーク



合併シナジー顕在化

ラインナップ・販路の拡大

サービススクール・
e-Learningを各地域で実施

充実したテクニカル
サポート体制

米国EPA※認証数トップクラス
エンジン

固有の
研究・開発力

3つの事業

高い製品シェア
例) 小型屋外作業機械(OPE)
世界: 約10% / 日本: 30%以上

鉄めっき・放電加工

ラインナップ
販売ネットワークの拡大

独自の生産技術力
一貫生産能力

世界90ヶ国以上
2万8千店舗

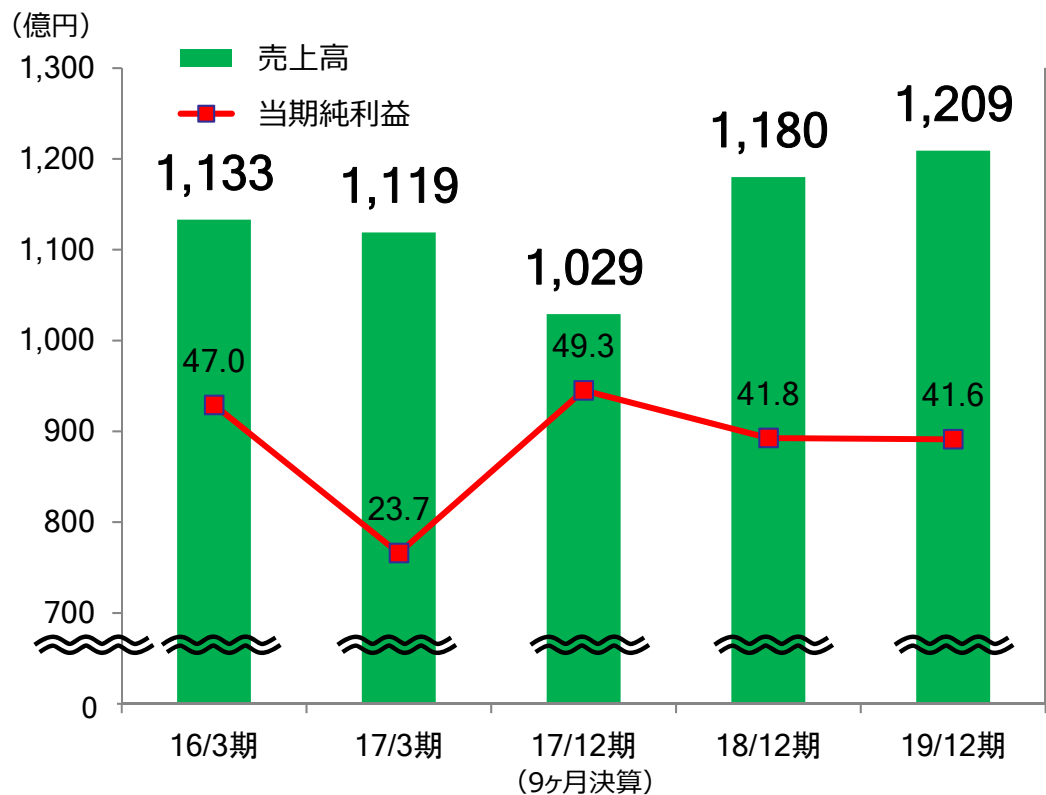
鋳造→熱処理
→機械加工→組立

“グローバル”での“高い競争力”を実現

※米国環境保護庁 当社調べ

為替の影響を受けながらも着実に業績向上 / 海外売上高が60%超

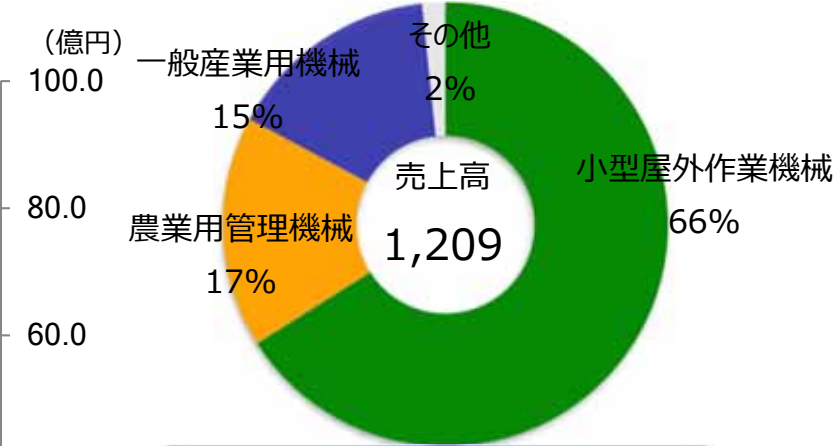
売上高推移



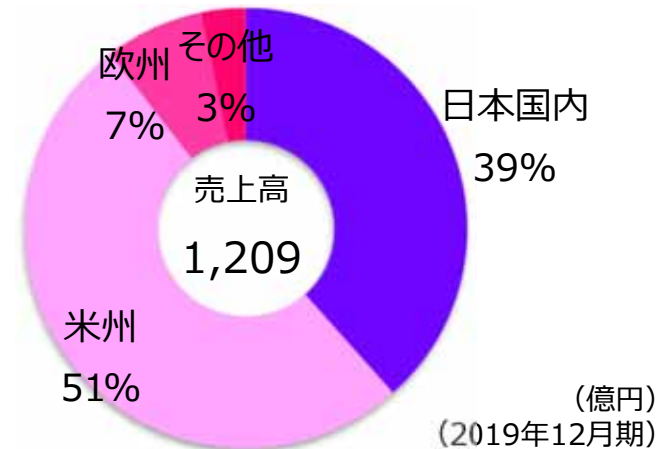
| | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1ドル | 121 | 109 | 112 | 110 | 109 |
| 1ユーロ | 132 | 120 | 127 | 131 | 123 |

(ドルは米国子会社換算レート)

事業別売上高



地域別売上割合

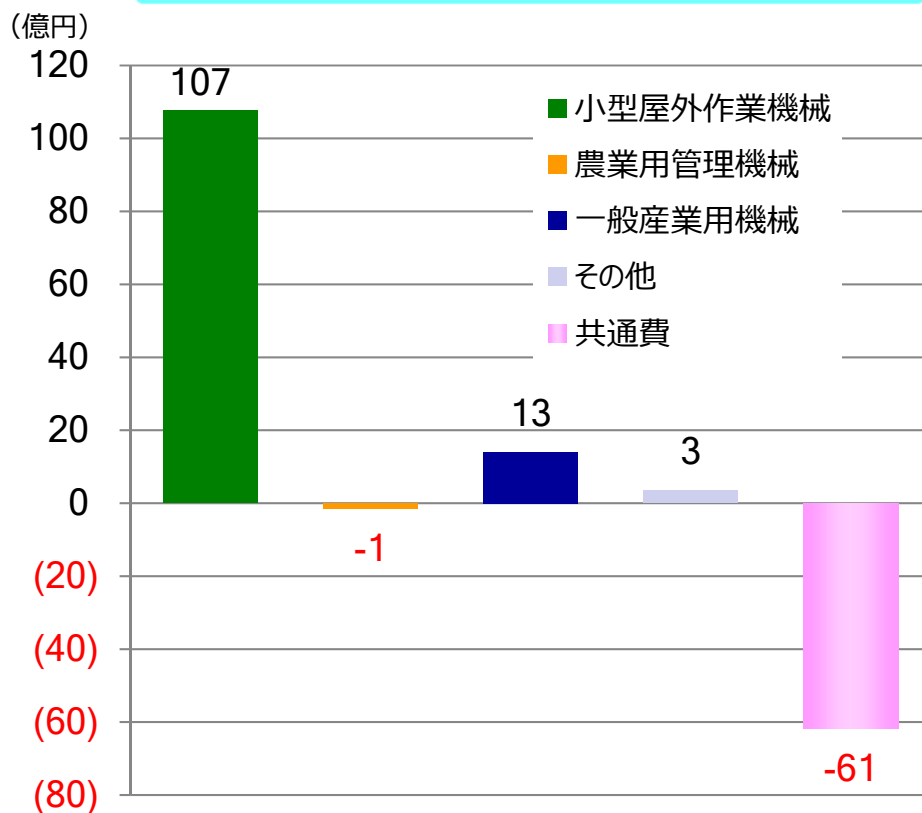


(億円)
(2019年12月期)

小型屋外作業機械（OPE）の収益性の高さが特長

営業利益構成

営業利益：62億円（2019年12月期）



主力製品（刈払機）・アクセサリ・スペアパーツの例



補足資料

セグメントの概要

| セグメント（事業） | 概要 |
|----------------|---|
| 小型屋外作業機械(OPE※) | 「手で持つ」もしくは「背負って」使用する主に小型エンジンを搭載した機械の製造販売、欧州を中心に展開するロボット芝刈機の製造販売 |
| 農業用管理機械 | 国内における防除機械、北米における農作物収穫機械の製造販売 |
| 一般産業用機械 | 建設・土木・鉄工用機械の製造販売 |
| その他 | 上記に含まれない商品など |

主要製品

| セグメント（事業） | 主要製品 |
|----------------|---------------------------------------|
| 小型屋外作業機械(OPE※) | 刈払機、チェーンソー、パワーブロワ、ヘッジトリマー、ロボット芝刈機 |
| 農業用管理機械 | 防除機（動力噴霧機、スピードスプレーヤ、乗用管理機）、畦草刈機、大豆収穫機 |
| 一般産業用機械 | 発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機 |
| その他 | 自動車用試作部品、除雪機 |

※Outdoor Power Equipment

| 事業 | 関連指標等 |
|---------------|--|
| 小型屋外作業機械(OPE) | 北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格（大豆、トウモロコシ、コーヒー） 等 |
| 農業用管理機械 | 米国：穀物価格（大豆、トウモロコシ） 等 |

米国住宅着工件数
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

| 事業 | 関連指標等 |
|----------------|--|
| 小型屋外作業機械 (OPE) | (一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等 |
| 農業用管理機械 | (一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等 |
| 一般産業用機械 | (一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、(一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等 |

出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。(防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)
(一社) 日本農業機械工業会出荷実績

(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)

当社の強み① 小型エンジンの開発力・生産力 (一貫生産体制)



チェンソー



刈払機



パワーブロワ



ヘッジトリマー

小型エンジンを搭載した小型屋外作業機械

高い開発力

長年にわたるノウハウの蓄積

顧客ニーズにきめ細かに対応可能

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力
(手持機械に最適)

環境対応エンジン認証数
業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

2ストローク

2ストローク
(層状)

4ストローク
(混合)

4ストローク
(分離)

当社の強み② 販売ネットワーク

2016年実績



世界 90ヶ国以上 / 2万8千店の販売ネットワーク

国内



動力噴霧機



乗用管理機



スピードスプレーヤ

海外



大豆収穫機



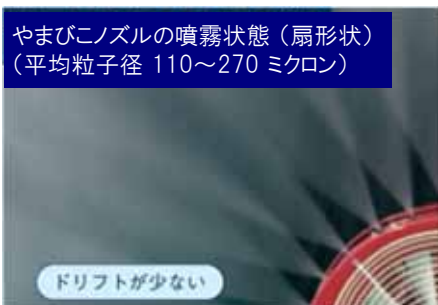
ジャガイモ収穫機

技術的な強み

国内： 共立の創業時の理念「食糧増産による社会貢献」を礎に長年にわたって蓄積してきた送風技術・噴霧技術・ポンプ技術。

海外： 収穫効率向上のための送風技術（特許）。機器の軽量化・小型化の技術。

やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径 110～270 ミクロン）



ドリフトが少ない

農薬飛散を低減させる
やまびこ自社開発ノズル



効果的な農薬散布を
可能にした整流機構



エンジン溶接機



ディーゼルエンジン発電機



ガソリンエンジン溶接機

技術的な強み

新ダイワ工業の創業時から蓄積されたA Cモータ開発技術を進化・発展させた
発電機設計技術・電子制御技術・防音技術。



世界初の三相/単相3線
切替なし同時出力可能
(米国特許・国内特許取得済み)



「ダブルECO」
低燃費・騒音排出ガス効果に優れた
2つのエコ機能の開発

小型屋外作業機械 (OPE)

開発本部研究開発部

先行技術・要素技術の研究・開発および解析業務

開発本部開発第一部

製品の設計・開発

開発本部開発第二部

電動製品の設計・開発

開発本部実験部

製品の試験

エコー・インコーポレイテッド
(米国)

用途開発・製品実験

やまびこヨーロッパ・エス・エイ
(ベルギー)

ロボット芝刈機の設計開発

《開発の重点》

- グローバルレベルでのエンジン排出ガス規制対応
- 北アメリカでの燃料透過規制対応
- ヨーロッパでの騒音および振動規制対応
- 小型軽量化・低騒音・低燃費・耐久性向上・安全性向上
- ロボット芝刈機の機能向上・耐久性向上

農業用管理機械

農業機械本部開発第一部・開発第二部

農業用管理機械などの設計・開発

クレイリー・インダストリーズ (米国)
チップーシュレッダー・大型農業機械などの開発

《開発の重点》

- ドリフト対策・適量散布・高性能化・操作性簡便化

一般産業用機械

産業機械本部
開発第一部・開発第二部
発電機、溶接機などの
設計開発

《開発の重点》

- 小型軽量化・低騒音
- ・高性能・高機能
- ・低燃費

電子・電気制御

電子制御研究所
電子・電気制御技術の研究

《研究の重点》

- 電子制御化

(注) 2017年12月期より、事業セグメント内容の一部を変更しております。

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・塗装・組立 等）

防除機の製造（板金・塗装・組立 等）

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・組立等）

発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）

※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産関連子会社

追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品・歯車

双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品

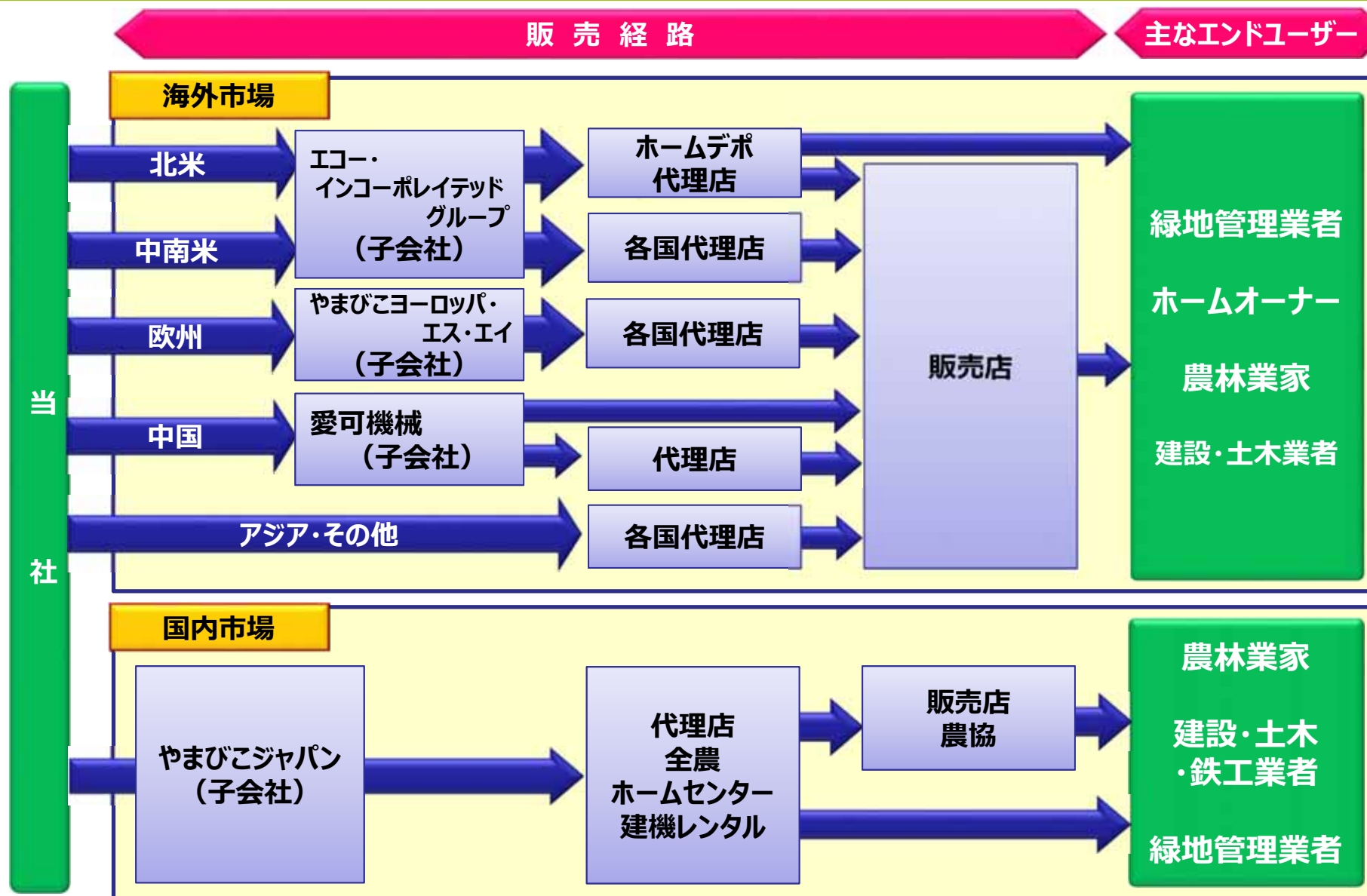
株式会社ニューテック（長野市）：鋳造部品

やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工



- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**
チッパー・シュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**
ロボット芝刈機の製造
- **愛可機械（深圳）有限公司（中華人民共和国 広東省）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **蘇州山彦農機有限公司（中華人民共和国 江蘇省）**
農業用管理機械の製造 ※搭載用エンジンは他メーカーから調達、一部部品は当社国内工場から支給
- **新大華機械股份有限公司（台湾 台中市）**
小型屋外作業機械の部品仕入
- **やまびこベトナム（ベトナム ビンズン省）**
一般産業用機械の部品製造





販売店

主なエンドユーザー

海外市場



海外における販売店ではブランド別に製品を展示。販売員が、エンドユーザーのニーズを聞きながら対面販売。



ホームセンターにおいては各機種群別・価格別に製品を展示。エンドユーザーはニーズや予算およびCM等で得たイメージをもとに購入する。



海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。
販売店と共にエンドユーザーを訪問しユーザーのニーズを捉えたうえで、製品を販売。

国内市場

農林業家

建設・土木
・鉄工業者

緑地管理業者

主なグループ会社の状況（2019年12月31日現在）



| | | 小型屋外作業機械 (OPE) | 農業用管理機械 | 一般産業用機械 |
|----|----------|---|----------------|----------------|
| 海外 | 生産 販売 | エコー・インコーポレイテッド やまびこヨーロッパ・エス・エイ 愛可機械 | クレイリー・インダストリーズ | エコー・インコーポレイテッド |
| | 生産 | クイック・プロダクツ・インク 新大華機械 | 蘇州山彦農機 | やまびこベトナム |
| | 販売 | ゴールデンイーグル ディストリビューティング | 愛可機械 | |
| 国内 | 販売 | やまびこジャパン | | |
| | 生産 | 追浜工業 双伸工業 | | やまびこエンジニアリング |

人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式 I R 課

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143
e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp